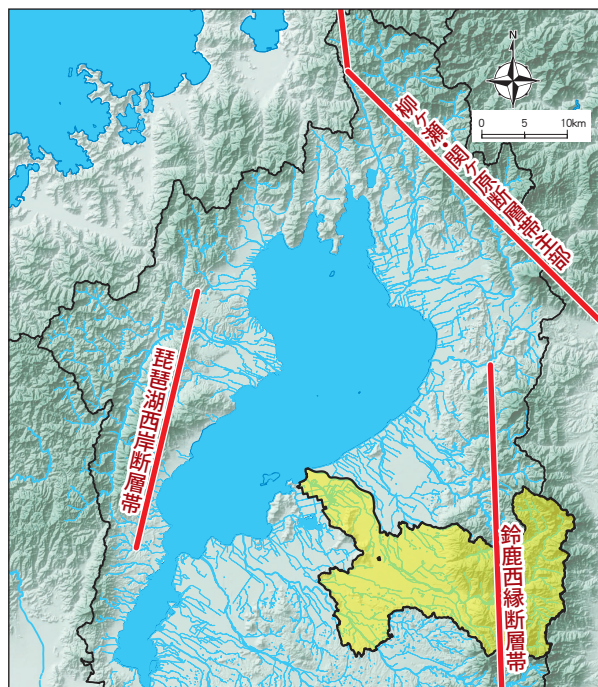


2-1 東近江市をおそう地震

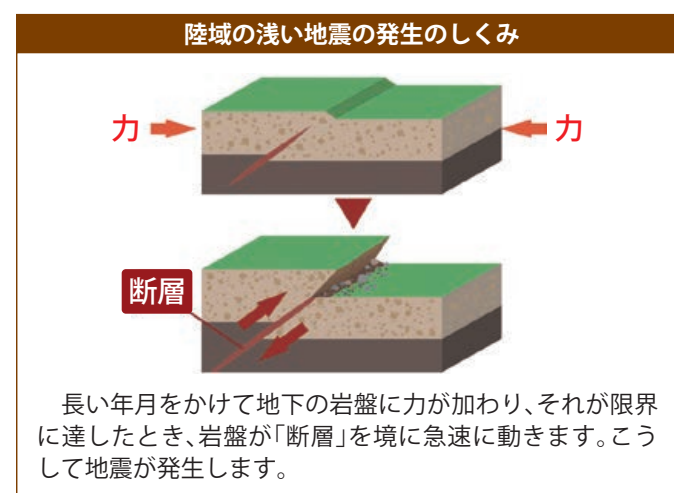
本市をおそう地震には、内陸の活断層で起こる「直下型地震」と、プレート境界で起こる「海溝型地震」の2種類があります。

直下型地震



活断層の出典：独立法人 防災科学技術研究所 地震ハザードステーションJ-SHIS

直下型地震は、地下の地盤に押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、ひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときに、ある断層面を境に地盤がずれ動くことで発生します。

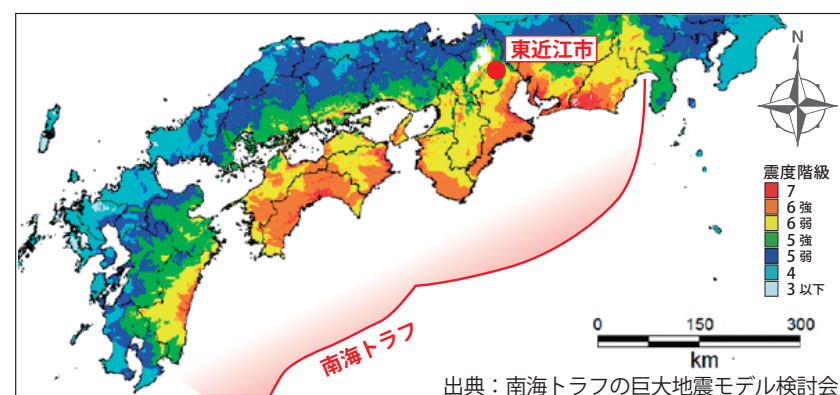


海溝型地震

海溝型地震は、地球をおおう海側のプレートが陸側のプレートの下にもぐりこむことで、境界にひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときにプレートが元に戻ろうとしてはね上がることで発生します。この際、地震と共に津波も発生します。

海溝型地震は、周期性があることが確認されており、南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に70%～80%の確率で発生すると言われています。

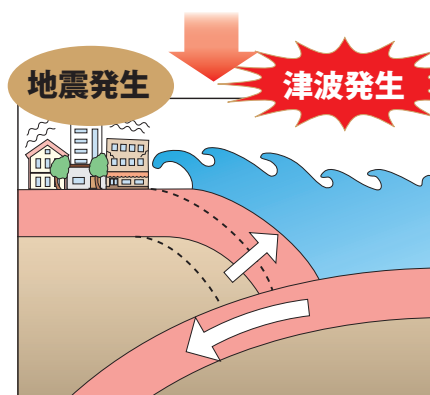
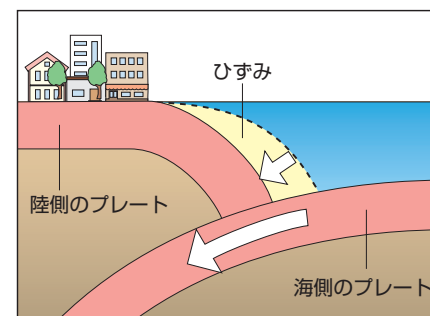
南海トラフ巨大地震の震度分布



この図は、南海トラフ巨大地震が想定される最大規模で発生した際の震度分布です。静岡県から宮崎県にかけて震度7となる地域があるほか、広い地域で震度6弱以上の強い揺れが想定されています。

海溝型地震の発生のイメージ

海側のプレートが陸側のプレートの下にもぐりこみ、ひずみが蓄積される。



ひずみに耐えきれなくなり、陸のプレートの先端が跳ね上がる！

2-2 震度と想定される被害

地震が起きたらどうなるの？[屋内では]

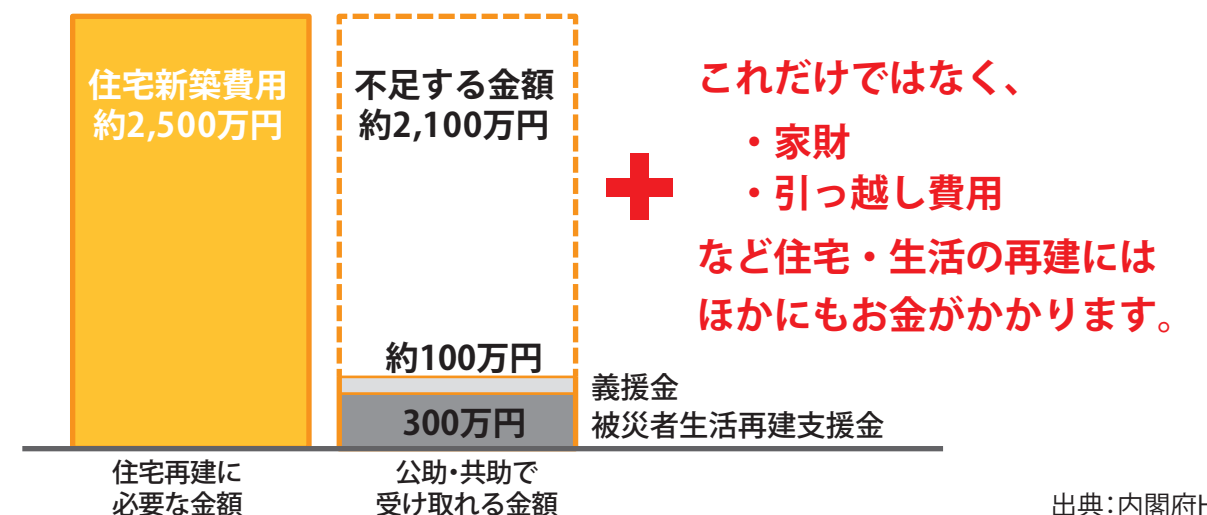
震度 4 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。	震度 5弱 ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度 5強 ● 物につかまらなないと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本は落ちるものが増える。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度 6弱 ● 立っていることが困難になる。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 耐震性が低い 耐震性が高い	震度 6強 ● はわないと動くことができない。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。 耐震性が低い 耐震性が高い	震度 7 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが増える。 耐震性が低い 耐震性が高い

住宅・生活再建にはこんなにお金がかかる

大きな災害が発生し、自宅が被害を受けた場合、自宅の修理や建替え、生活の再建などに大きな費用が必要となります。公的な支援や善意による義援金だけでは、十分な額にはなりません。

いざという時にスムーズに生活を再建するためには、保険に加入するなど生活再建のための備えが必要です。

「前回被害からの住宅再建」(東日本大震災の事例)



出典：内閣府HP